農林水産統計
Statistics of Agriculture, Forestry and Fisheries

農林水産省
大臣官房統計部
平成29年２月14日公表

平成28年産日本なし、ぶどうの結果樹面積、収穫量及び出荷量

－　日本なしの収穫量は前年産並み、ぶどうは前年産に比べ１％減少　－

【調査結果の概要】

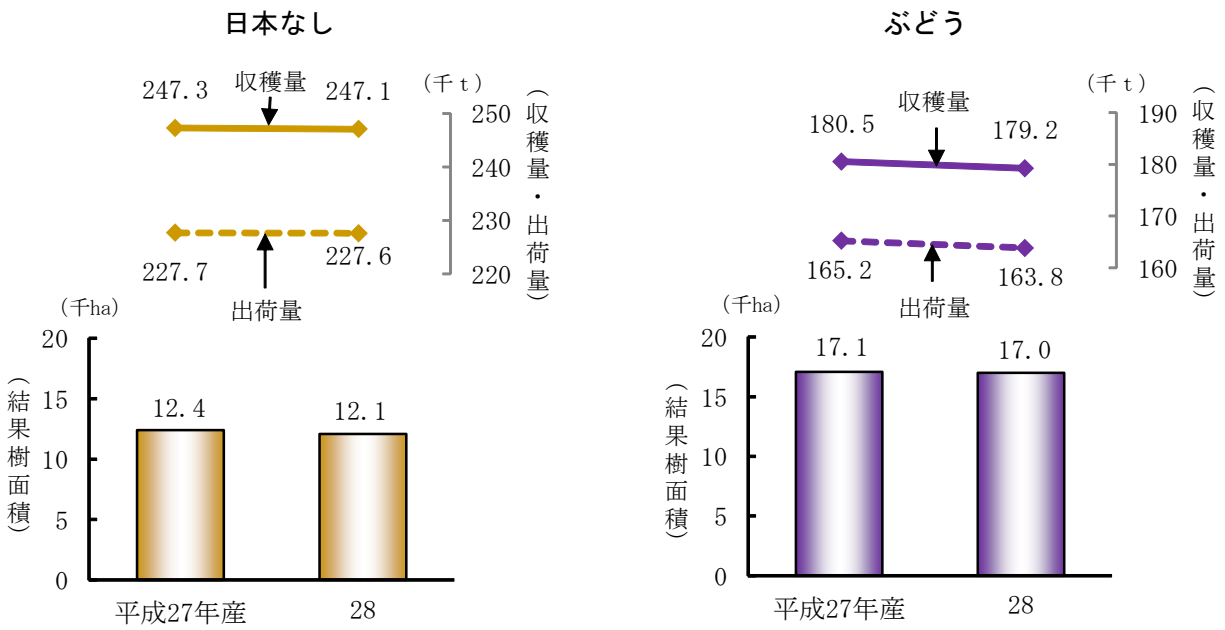
１　日本なし

全国の結果樹面積(注)は１万2,100haで、前年産に比べ300ha（２％）減少した。
収穫量は24万7,100ｔ、出荷量は22万7,600ｔで、ともに前年産並みとなった。

２　ぶどう

全国の結果樹面積は１万7,000haで、前年産に比べ100ha（１％）減少した。
収穫量は17万9,200ｔ、出荷量は16万3,800ｔで、前年産に比べそれぞれ1,300ｔ（１％）、1,400ｔ（１％）減少した。

図１　日本なし、ぶどうの結果樹面積、収穫量及び出荷量（全国）



注：結果樹面積とは、栽培面積のうち生産者が果実を収穫するために結実させた面積をいう。

本資料は、農林水産省ホームページの「統計情報」から御覧いただけます。
【 http://www.maff.go.jp/j/toukei 】

◎　調査結果の主な利活用

・　果実を安定的に供給するための生産努力目標の策定及びその達成に向けた各種対策の推進のための資料

・　農業災害補償法（昭和22年法律第185号）に基づく果樹共済事業の適正な運営のための資料

◎　累年データ

1　日本なしの結果樹面積、10ａ当たり収量、収穫量及び出荷量（全国）

2　ぶどうの結果樹面積、10ａ当たり収量、収穫量及び出荷量（全国）

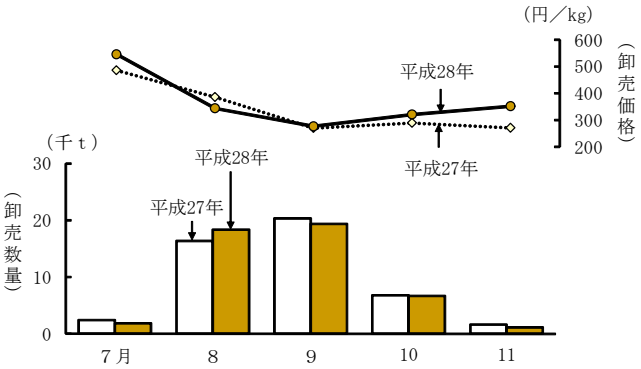
年　産	結果樹面積	10ａ当たり収量	収穫量	出荷量	結果樹面積	10ａ当たり収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	ha	kg	t	t
平成 19 年産	14,600	2,030	296,800	272,300	18,600	1,120	209,100	190,700
20	14,300	2,300	328,200	301,700	18,400	1,090	201,000	183,300
21	14,200	2,240	317,900	292,700	18,300	1,100	202,200	184,800
22	13,900	1,860	258,700	238,800	18,000	1,030	184,800	168,500
23	13,700	2,090	286,200	264,000	17,800	970	172,600	157,800
24	13,300	2,070	275,400	252,800	17,600	1,130	198,300	182,100
25	13,000	2,060	267,200	246,400	17,400	1,090	189,700	173,600
26	12,800	2,110	270,700	249,700	17,300	1,090	189,200	173,400
27	12,400	1,990	247,300	227,700	17,100	1,060	180,500	165,200
28　（概数）	**12,100**	**2,040**	**247,100**	**227,600**	**17,000**	**1,050**	**179,200**	**163,800**

資料：農林水産省統計部『果樹生産出荷統計』

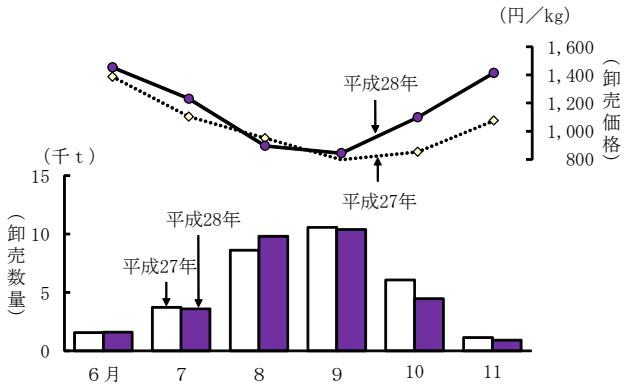
◎　関連データ

日本なし、ぶどうの卸売数量及び卸売価格の推移（主要卸売市場）

日本なし



ぶどう



資料：農林水産省統計部「青果物卸売市場調査（日別調査）」
注：全国の主要都市に所在する主要な中央卸売市場の日別値を加算し算出したものである。

【調査結果】

1　日本なし

(1)　全国の結果樹面積は１万2,100haで、前年産に比べ300ha（２％）減少した。

(2)　全国の10ａ当たり収量は2,040kgで、前年産に比べ50kg（３％）上回った。

(3)　全国の収穫量は24万7,100ｔ、出荷量は22万7,600ｔで、ともに前年産並となった。

(4)　都道府県別の収穫量割合は、千葉県が13％、茨城県が10％、栃木県、福島県及び鳥取県がそれぞれ８％、長野県が６％となっている。

図２　日本なしの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）

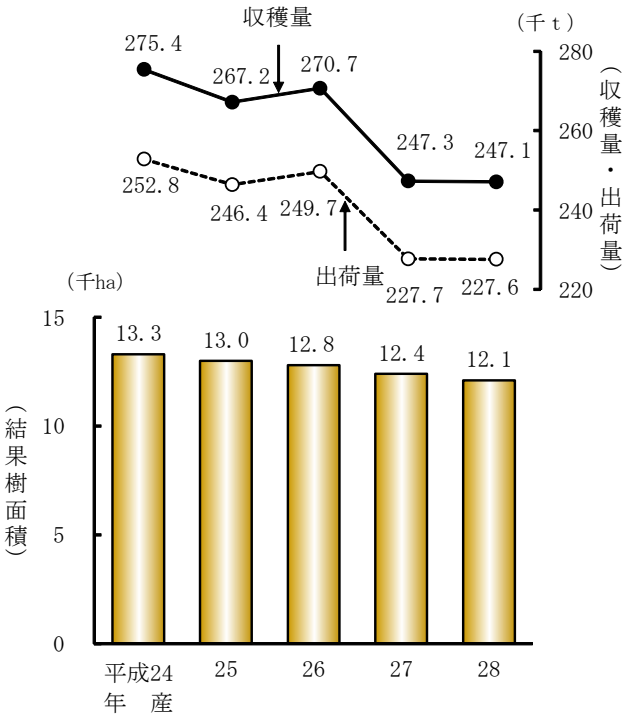


図３　日本なしの都道府県別収穫量

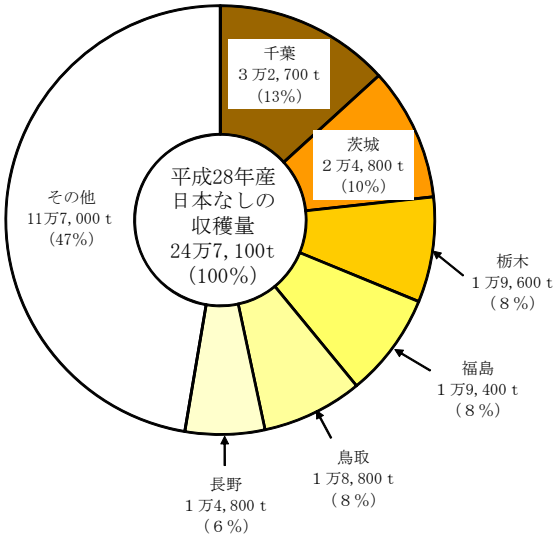


表１　平成28年産日本なしの結果樹面積、10ａ当たり収量、収穫量及び出荷量（全国）

品　目	結果樹面積	10ａ当たり収量	収穫量	出荷量	対前年産比 結果樹面積	対前年産比 10ａ当たり収量	対前年産比 収穫量	対前年産比 出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
日本なし	12,100	2,040	247,100	227,600	98	103	100	100

２　ぶどう

(1)　全国の結果樹面積は１万7,000haで、前年産に比べ100ha（１％）減少した。

(2)　全国の10ａ当たり収量は1,050kgで、前年産に比べ10kg（１％）下回った。

(3)　全国の収穫量は17万9,200ｔ、出荷量は16万3,800ｔで、前年産に比べそれぞれ1,300ｔ（１％）、1,400ｔ（１％）減少した。

(4)　都道府県別の収穫量割合は、山梨県が24％、長野県が16％、山形県が10％となっており、この３県で全国の５割を占めている。

図４　ぶどうの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）

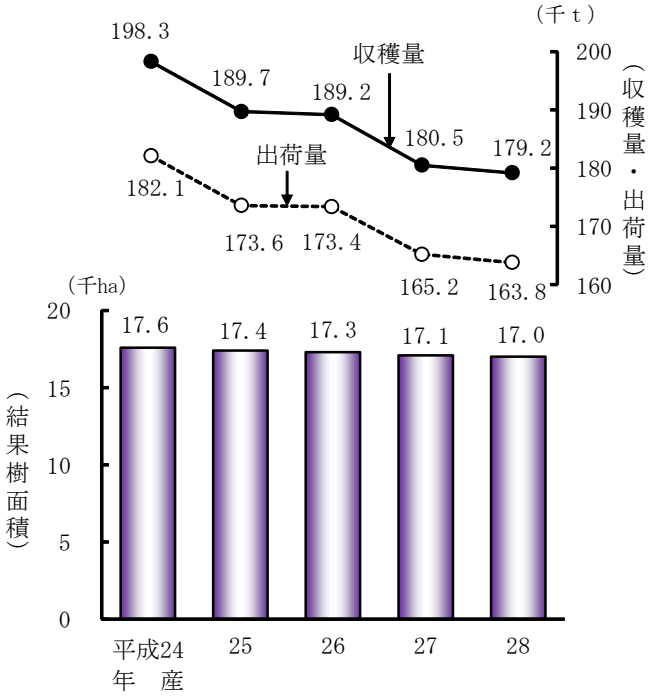
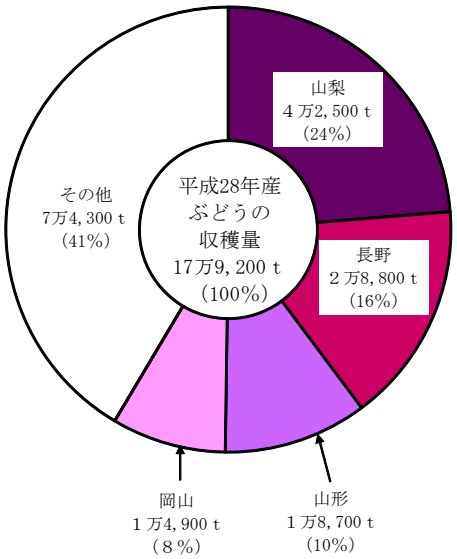


図５　ぶどうの都道府県別収穫量



注：　割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない。

表２　平成28年産ぶどうの結果樹面積、10ａ当たり収量、収穫量及び出荷量（全国）

品　目	結果樹面積	10ａ当たり収量	収穫量	出荷量	対前年産比 結果樹面積	対前年産比 10ａ当たり収量	対前年産比 収穫量	対前年産比 出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
ぶどう	17,000	1,050	179,200	163,800	99	99	99	99

【統計表】

1　平成28年産日本なしの結果樹面積、10ａ当たり収量、収穫量及び出荷量

全国・都道府県	結果樹面積	10ａ当たり収量	収穫量	出荷量	対前年産比 結果樹面積	対前年産比 10ａ当たり収量	対前年産比 収穫量	対前年産比 出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
全国	12,100	2,040	247,100	227,600	98	103	100	100
うち 宮城	153	1,870	2,860	2,540	95	82	78	79
秋田	189	1,620	3,060	2,790	97	93	91	91
山形	133	1,330	1,770	1,460	99	92	91	91
福島	886	2,190	19,400	18,000	98	96	95	95
茨城	1,070	2,320	24,800	23,600	96	99	94	94
栃木	776	2,530	19,600	18,100	99	95	95	94
群馬	215	2,340	5,030	4,150	99	93	92	89
埼玉	409	2,080	8,510	7,980	98	96	94	94
千葉	1,520	2,150	32,700	31,300	97	106	103	103
東京	93	2,180	2,030	1,900	99	103	102	101
神奈川	236	2,090	4,930	4,660	98	103	102	101
新潟	436	2,100	9,160	8,450	92	100	92	92
富山	171	2,400	4,100	4,000	98	126	123	124
石川	140	2,530	3,540	3,260	99	127	125	125
福井	67	2,060	1,380	1,290	100	114	114	110
長野	765	1,940	14,800	13,100	99	102	101	101
岐阜	125	1,800	2,250	2,040	98	98	97	99
愛知	364	1,790	6,520	5,940	98	103	102	101
滋賀	50	1,440	720	657	100	95	95	95
京都	78	2,140	1,670	1,580	100	98	98	98
兵庫	65	2,040	1,330	1,230	98	93	92	92
鳥取	848	2,220	18,800	16,900	97	101	98	100
広島	143	1,820	2,600	2,260	97	160	154	149
山口	199	1,350	2,690	2,520	99	99	98	97
徳島	218	2,410	5,250	4,880	98	124	121	121
香川	38	1,370	521	476	103	126	129	129
福岡	421	2,070	8,710	8,140	99	111	110	111
佐賀	237	1,710	4,050	3,730	92	120	111	111
長崎	64	1,200	768	661	98	107	105	105
熊本	515	1,180	6,080	5,500	99	103	102	100
大分	367	2,200	8,070	7,400	99	116	115	115

注：主産県を対象に調査を実施しており、全国値については主産県の結果を基に推計した（２の統計表において同じ。）。

２　平成28年産ぶどうの結果樹面積、10ａ当たり収量、収穫量及び出荷量

全国・都道府県	結果樹面積	10ａ当たり収量	収穫量	出荷量	対前年産比 結果樹面積	対前年産比 10ａ当たり収量	対前年産比 収穫量	対前年産比 出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
全国	17,000	1,050	179,200	163,800	99	99	99	99
うち 北海道	1,010	608	6,140	5,830	101	84	85	85
青森	438	932	4,080	3,160	99	93	92	90
岩手	357	960	3,430	3,070	101	105	106	106
秋田	181	1,100	1,990	1,800	101	105	105	108
山形	1,520	1,230	18,700	16,900	99	104	103	103
福島	265	1,030	2,730	2,440	99	102	101	101
群馬	141	761	1,070	870	98	106	104	106
埼玉	172	859	1,480	1,390	101	107	107	108
新潟	255	998	2,540	2,220	98	105	103	103
富山	28	760	213	207	100	101	101	100
石川	155	748	1,160	1,060	99	95	94	95
山梨	3,860	1,100	42,500	39,600	99	104	103	103
長野	2,300	1,250	28,800	26,700	101	101	102	102
愛知	466	936	4,360	3,980	100	98	98	95
滋賀	53	900	477	440	98	95	93	94
大阪	416	1,180	4,910	4,660	98	100	98	98
鳥取	75	985	739	672	97	100	97	98
島根	244	943	2,300	2,190	96	98	94	94
岡山	1,120	1,330	14,900	13,400	102	90	91	91
広島	282	1,160	3,270	2,930	100	99	99	98
香川	183	628	1,150	1,000	98	90	88	87
愛媛	153	756	1,160	1,080	100	96	96	96
福岡	825	972	8,020	7,320	100	96	96	96
大分	290	901	2,610	2,380	96	98	94	94
宮崎	164	1,170	1,920	1,730	98	105	104	104

【調査の概要】

1　調査の目的

本調査は、作物統計調査の作況調査の果樹調査として実施したものであり、果樹の結果樹面積、収穫量、出荷量等の現状とその動向を明らかにし、食料・農業・農村基本計画における果実の生産努力目標の策定及びその達成に向けた各種対策の推進、農業災害補償法に基づく果樹共済事業の適正な運営等のための資料を整備することを目的としている。

2　調査の対象

(1)　調査の範囲

全ての都道府県を調査の対象とする全国調査を５年ごとに実施しており（直近では平成26年産）、その中間年に当たる本年産にあっては、調査対象品目ごとに、全国調査年における出荷量の全国値のおおむね80％を占めるまでの上位都道府県及び調査対象品目に係る果樹共済事業を実施する都道府県を調査の範囲（主産県）としている。

(2)　調査対象者の選定

ア　関係団体調査（全数調査）

調査対象品目を取り扱っている全ての農協等の関係団体とした。

イ　標本経営体調査（標本調査）

2015年農林業センサスにおいて、調査対象品目を販売目的で栽培した農林業経営体から無作為に抽出（母集団名簿の栽培面積を昇順に並べ替え、栽培面積規模別に設定した標本の大きさに応じて等間隔に抽出する方法（系統抽出法）により抽出）をした。

(3)　調査対象者数

	関係団体調査			標本経営体調査				
	団体数 ①	有　効 回収数 ②	有　効 回収率 ③=②/①	母 集 団 の大きさ ④	標本の 大きさ ⑤	抽出率 ⑥=⑤/④	有　効 回収数 ⑦	有　効 回収率 ⑧=⑦/⑤
	団体	団体	%	経営体	経営体	%	経営体	%
日 本 な し	236	230	97.5	15,698	1,353	8.6	808	59.7
ぶ　ど　う	294	286	97.3	27,378	1,695	6.2	1,159	68.4

注：「有効回収数」は、回収があったもののうち、当年産において作付けがなかった標本経営体等を除いた数である。

3　調査事項

(1)　関係団体調査

調査対象品目の結果樹面積及び出荷量

(2)　標本経営体調査

調査対象品目の結果樹面積、収穫量及び出荷量

4　調査期日

収穫・出荷終了時

なお、本調査の年産区分の主たる収穫期間は、次のとおりである。

品　目	主たる収穫期間
日本なし	平成28年８月～10月
ぶ ど う	平成28年７月～10月

5　調査方法

本調査は、関係団体に対する往復郵送調査又はオンライン調査及び標本経営体に対する往復郵送調査により行った。

6　集計方法

(1)　都道府県値

結果樹面積の集計は、関係団体調査結果を基に行っており、職員又は統計調査員による巡回・見積りにより補完している。

収穫量の集計は、関係団体調査及び標本経営体調査結果から得られた結果樹面積、収穫量及び出荷量を基に算出した10ａ当たり収量（関係団体調査においては、標本経営体調査結果による自家消費等の量を勘案して算出）を、必要に応じて職員又は統計調査員による巡回及び職員による情報収集の結果により補完し、これに結果樹面積を乗じて算出している。なお、調査結果により算出した各都道府県の10ａ当たり収量は、調査対象品目について関係団体取扱数量の割合がおおむね80％以上の場合は関係団体調査結果を、おおむね80％未満の場合は標本経営体調査結果を採用している。

出荷量の集計は、関係団体調査結果から得られた出荷量及び標本経営体調査結果から得られた出荷率等を基に算出している。

(2)　全国値

本年産調査は主産県調査年に当たることから、全国調査を行った平成26年産の調査結果を用いて次により推計した。

ア　結果樹面積

$$\text{当年産の全国値の推計値} = \text{結果樹面積の主産県値} + \frac{\text{結果樹面積の主産県値}}{\text{栽培面積の主産県値}} \times (\text{栽培面積の全国値} - \text{栽培面積の主産県値})$$

注：「栽培面積」は、農林水産省大臣官房統計部が平成28年10月に公表した「平成28年果樹及び茶栽培面積（７月15日現在）」による。

イ　収穫量及び出荷量

$$\text{当年産の全国値の推計値} = \frac{\text{平成26年産の全国値} \times \text{当年産の主産県値}}{\text{平成26年産の主産県値}}$$

7　目標精度

本調査において、目標精度は設定していない。

8　用語の解説

(1)　結果樹面積とは、栽培面積のうち、生産者が果実を収穫するために結実させた面積をいう。

(2)　収穫量とは、収穫したもののうち、生食用又は加工用として流通する基準を満たすものの重量をいう。

(3)　出荷量とは、収穫量から生産者の自家消費量、生産物を贈与した量等を差し引いた重量をいう。

9　利用上の注意

(1)　統計数値については、次の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原　　数		６桁 (10万)	５桁 (万)	４桁 (1,000)	３桁以下 (100以下)
四捨五入する桁数（下から）		２桁		１桁	四捨五入しない
例	四捨五入する前（原数）	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した後（統計数値）	123,500	12,300	1,230	123

(2)　この統計表に掲載された数値を他に転載する場合は、「平成28年産日本なし、ぶどうの結果樹面積、収穫量及び出荷量」（農林水産省）による旨を記載してください。

10　その他

この資料の数値は、概数値である。確定した詳細な数値は、ホームページに掲載（平成29年12月予定）するとともに、その後刊行する『平成28年産果樹生産出荷統計』に掲載する。

なお、公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせする。

【ホームページ掲載案内】

○　各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。
【 http://www.maff.go.jp/j/tokei/ 】
この結果の分野別分類は「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類は「果樹」に分類しています。

【関連リンク】

果樹関係ページ:農林水産省＞組織別から探す＞生産局＞園芸作物(野菜・果樹・花き)＞果樹のページ
http://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/fruits/

果樹農業振興基本方針:農林水産省＞組織別から探す＞生産局＞園芸作物(野菜・果樹・花き)＞果樹のページ＞果樹施策の概要
http://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/fruits/pdf/kajyu427.pdf

お問合せ先

◎本統計調査結果について
農林水産省　大臣官房統計部
生産流通消費統計課　園芸統計班
電話：（代表）03-3502-8111 内線3680
（直通）03-6744-2044
ＦＡＸ：　03-5511-8771

◎農林水産統計全般について
農林水産省　大臣官房統計部
統計企画管理官　広報普及班
電話：（代表）03-3502-8111 内線3589
（直通）03-6744-2037
ＦＡＸ：　03-3501-9644

政府統計
政府統計の総合窓口
（e-Stat）
http://www.e-stat.go.jp/